

(様式第4号)

塩田地域協議会 会議概要

1 審議会名	(平成27年度)第8回 塩田地域協議会
2 日時	平成27年11月19日(木) 午後2時30分から午後4時30分まで
3 会場	塩田公民館 小ホール
4 出席者	南雲会長、片桐副会長、工藤委員、窪田富委員、窪田八委員、甲田委員、竹内委員、西川委員、西澤委員、早坂委員、林委員、松崎委員、水野委員、山極一委員、山極郁委員、山部委員 合計16名
5 市側出席者	塩田地域自治センター；海瀬センター長、土屋 地域振興政策幹、堀内 係長 佐藤 地域担当職員
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成27年12月16日

協議事項等

1 開会(副会長)

2 あいさつ(会長)

3 協議事項

(1) 専門委員会からの報告(意見書案も併せて協議)

- (地域振興委員) 和倉で開催された全国ため池フォーラムへの参加について報告。
本日の協議会后、大ホールで行う予定のDVD上映について紹介。
- (地域福祉委員長) 11月12日に開催された地区社協の住民福祉大会について報告。
- (安心安全委員) 上田の連合自治会で行う予定の空家対策アンケートについて紹介。
- (センター長) 意見書の素案について説明。また、提出時期を1月とすることについて打診。
- (地域振興部会) 素案中の「地域の責務」という表現は「地域の取組み」の方が良いのではないかと。
- (委員) (素案は、小地域福祉ネットワークが「自治会福祉ネットワーク」と情報交換を行なっていく内容になっているが、)両者が同じものだとすれば意味が通じない。
- (センター長) 細かいネットワークを構築していくという趣旨だと御理解いただきたい。
- (委員) 素案の手法を推奨されてしまうと要援護者に対する支援を既にやっている地域では、逆戻りする心配がある。取組みが進んでいる所には失礼ではないかと。
- (地域福祉部会) 御指摘のような地域は見当たらないので懸念するには及ばない。ネットワークがしっかりしていて初めて情報が汲み上がる。

(2) 地域経営会議の検討状況について

- (地域担当職員) 塩田地域での地域経営会議の設立について、11月5日の自治連役員会で検討された案について報告。
- (委員) 塩田地域での地域自治組織設立検討委員会の主体は、なぜ自治連なのか。商工会、活性化組合、消防、安協などが入っていないが。
- (地域担当職員) 検討委員会の位置付けは準備会議。新しい住民自治組織の構成メンバーは今後検討していく。準備段階の主体としては歴史ある自治連が中心の体制が望ましいと考えた。なお、委員長が認める者と呼んで意見を述べてもらうことができるよう経営会議を運営していく。
- (委員) 検討委員会の任期はどのようなか。また、最終目標は何か。
- (地域担当職員) 組織ができるまでを任期とする。29年度に組織ができることを目標とする。
- (委員) 1年任期の自治連を主体とした組織では継続性に欠けるのではないかと。
- (委員) 役員が残留してもらうようなことを考えてはどうか。
- (地域担当職員) 役員会でも同じような懸念の声があった。検討すべき課題と考えている。
- (副会長) 女性は男性と発想が違う。女性がない検討会は好ましくない。
- (地域担当職員) 役員会で検討する。川西の例では協議会の全メンバーの他、自治会長やまちづくり団体も入っていただいている。
- (委員) 他の地域と塩田は構成メンバーが違うのはどういう理由からか。
- (地域担当職員) 新たな組織を作るには既存のものを中心にする方が容易ではないかという事務局案を役員会で承諾していただいた。丸子や神科・豊殿には塩田の自治連に当たる組織がなかったため、誰が決めて地域経営会議ができたか曖昧になっている。塩田の場合は、民主的に選出された自治会長が組織の中心であるという説明ができる。
- (委員) 女性に入ってもらえば話し合いがうまくいくのではないかと。
- (会長) 視点が男性に偏らないようにした方がよい。女性を入れていただきたい。
- (委員) 様々な出身母体の方で構成される地域協議会メンバーに入っていただいているかと。
- (地域担当職員) 自治連の役員さん方にお伝えする。

(3) その他について
(センター長)
(政策幹)

前回審議した「新生上田市建設計画」に係る答申書について報告。
塩田公民館だよりに掲載のため池探検隊の記事について紹介。

4 その他

次回の日程等

平成 2 7 年 1 2 月 1 7 日(木)予定

5 閉 会

以上確認の上、午後 4 時 3 0 分閉会した。